

東日本大震災による統計への影響の分析と補正

—患者調査の推計患者数の補正—

研究代表者	橋本 修二	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座教授
研究分担者	川戸 美由紀	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座講師
	村上 義孝	東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野教授
研究協力者	遠又 靖丈	東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野助教
	三重野牧子	自治医科大学情報センター医学情報学助教
	山田 宏哉	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座助教

研究要旨 平成23年「患者調査」の推計患者数について、東日本大震災による未調査地域の補正を試みた。未調査地域の補正方法として、宮城県の石巻・気仙沼医療圏では宮城県のそれ以外の地域の推計患者数を、福島県では「福島県患者調査」の推計患者数を基礎として、「医療施設調査」の在院患者数と外来患者延数（利用できない場合には入院で病床数、外来で施設数など）を補助変量とする比推定を用いた。全国、宮城県と福島県における入院・外来の推計患者数補正值を、性・年齢階級別、傷病分類別、患者住所地別に示した。全国の推計患者数補正值に対して、「患者調査」の報告値（宮城県の石巻・気仙沼医療圏と福島県を含まず）は入院・外来とも0.98倍であった。また、宮城県の推計患者数補正值は「宮城県患者調査」の患者数調査値とおおよそ一致したことから、妥当性を有する可能性が示唆された。宮城県と福島県の推計患者数補正值はその妥当性が未検証であることを明示しつつ、広く一般に提供することが重要と考えられた。

A. 研究目的

東日本大震災によって、多くの保健医療統計が甚大な影響を受けたと考えられる。保健医療統計の長期的な利用を考慮すると、各統計への影響を評価し、必要に応じて、統計値の補正を行うことが重要である。

平成24～26年度の研究目的としては、保健医療統計について、東日本大震災による影響を分析するとともに、統計値の補正の方法を検討し、実際に補正を試みることとした。

本研究班の他の研究によって、東日本大震災による保健医療統計への影響状況が確認されるとともに、統計値の補正について、必要性が小さい、実施可能性が小さいと大きい判定が試みられた。補正の実施可能性が大きい統計値として、国民生活基礎調査の世帯数、患者調査の推計患者数が挙げられた。なお、詳細は研究報

告書の「東日本大震災による統計への影響の分析と補正—保健医療統計の影響状況と補正の実施可能性—」と「東日本大震災による統計への影響の分析と補正—国民生活基礎調査の世帯数の補正—」を参照されたい。

本研究では、患者調査の推計患者数について、東日本大震災による未調査地域の補正を試みた。2011年の患者調査は東日本大震災により、宮城県の石巻・気仙沼医療圏と福島県が調査対象外になった。2012年に福島県患者調査が福島県を対象として同様の調査時期と調査方法で実施されたことから、その調査情報を用いて、推計患者数の補正を行った。2012年に宮城県患者調査が宮城県を対象として、異なる調査時期と調査方法で実施されたことから、本推計患者数の補正值とその調査値を比較し、本補正の妥当性を検討した。

B. 研究方法

1. 推計患者数の補正

基礎資料として、2011年の患者調査と2012年の福島県患者調査を統計法第33条による調査票情報の提供（厚生労働省発統0929第2号、平成26年9月29日）を受けて利用した。また、2011年と2012年の医療施設調査と病院報告を同様に利用した。

患者調査から、施設所在地都道府県ごとに、病院・一般診療所・歯科診療所ごと、性・年齢階級、傷病分類、患者住所地都道府県別、入院と外来の推計患者数を得た。年齢階級は患者調査の都道府県表章用とし、0～4、5～14、15～24、25～34、35～44、45～54、55～64、65～74、75～84、85歳以上と不詳とした。傷病分類は大分類に基づいて、56分類（総数を含む）とした。施設所在地が宮城県の推計患者数は石巻・気仙沼医療圏以外のものであり、また、福島県の推計患者数は同県が調査対象外のために得られない。

福島県患者調査から、施設所在地が福島県における、病院・一般診療所・歯科診療所ごと、性・年齢階級、傷病分類、患者住所地都道府県別、入院と外来の推計患者数を得た。

医療施設調査から、宮城県における石巻・気仙沼医療圏とそれ以外ごとに、病院・一般診療所・歯科診療所ごとの2011年9月末現在の在院患者数と2011年9月の外来患者延数、および、福島県における2011年と2012年の10月1日現在の一般診療所の病床数と施設数、歯科診療所の施設数を得た。また、病院報告から、福島県における2011年と2012年の病院の9月末現在の在院患者数と9月の外来患者延数を得た。

補正の対象としては、宮城県と福島県の推計患者数とした。推計患者数の補正は、性・年齢階級、傷病分類、患者住所地都道府県ごとに、入院と外来別に行った。宮城県の推計患者数の補正方法としては、病院・一般診療所・歯科診療所ごとに、患者調査の石巻・気仙沼医療圏以外の入院・外来の推計患者数を基礎として、入

院では石巻・気仙沼医療圏を含む場合と含まない場合の医療施設調査の在院患者数を、外来では石巻・気仙沼医療圏を含む場合と含まない場合の医療施設調査の外来患者延数を補助変量とする比推定を用いた。

福島県の推計患者数（2011年）の補正方法として、福島県患者調査の入院・外来の推計患者数（2012年）を基礎とした。病院において、入院では2011年と2012年の病院報告の在院患者数を、外来では2011年と2012年の病院報告の外来患者延数を補助変量とする比推定を用いた。一般診療所の入院では2011年と2012年の医療施設調査の病床数を、一般診療所と歯科診療所の外来では2011年と2012年の医療施設調査の施設数を補助変量とする比推定を用いた。

2. 宮城県の推計患者数補正值と宮城県患者調査の患者数調査値の比較

宮城県患者調査の患者数の調査値（2012年1月）について、宮城県庁から提供を受けて、入院・外来、性・年齢階級、傷病分類、患者住所地が県内・県外別に得た。

施設所在地が宮城県の推計患者数（2011年10月）の補正值について、前述の方法で得るとともに、宮城県患者調査の患者数調査値と比較した。

（倫理面への配慮）

本研究では、連結不可能匿名化された既存の統計資料のみを用いるため、個人情報保護に係る問題は生じない。

C. 研究結果

1. 推計患者数の補正

患者調査の推計患者数の補正值について、表1に性・年齢階級別の入院と外来を、表2-1に傷病分類別の入院を、表2-2に傷病分類別の外来を、表3-1に患者住所地都道府県別の入院を、表3-2に患者住所地都道府県別の外来を示す。全国の推計患者数の補正值は入院が1,365.4千人、外来が7,383.9千人であり、それに比べて、

患者調査の報告値（宮城県の石巻・気仙沼医療圏と福島県を含まず）は入院・外来とも0.98倍であった。宮城県の推計患者数の補正值は入院が21.2千人、外来が130.0千人であった。福島県の推計患者数の補正值は入院が22.0千人、外来が108.8千人であった。

性・年齢階級、傷病分類ごとにみても、全国の推計患者数の補正值に対する、患者調査の報告値の比は0.98倍とほぼ一定であった。その比について、患者住所地都道府県ごとにみると、患者住所地が宮城県と福島県では（施設所在地の宮城県の一部と福島県が患者調査の調査対象外のため）、かなり小さく、一方、それ以外の都道府県では1に近かった。

2. 宮城県の推計患者数補正值と宮城県患者調査の患者数調査値の比較

宮城県の推計患者数補正值と宮城県患者調査の患者数調査値について、図1に入院・外来と性別を、図2に性・年齢階級別を、図3に傷病分類別を、図4に入院・外来と患者住所地が県内と県外別を示す。

宮城県の推計患者数補正值については、宮城県患者調査の患者数調査値とおおよそ一致していたが、全体的にやや少ない傾向であった。宮城県患者調査の患者数調査値に対する宮城県の推計患者数補正值の比をみると、入院が0.96倍、外来が0.98倍であった。その比について、男性では各年齢階級ともに、おおむね1よりもやや小さかったが、女性では0～4歳と55歳以上で1よりやや大きく、5～54歳では1よりやや小さかった。

宮城県患者調査の患者数調査値に対する宮城県の推計患者数補正值の比を傷病分類別にみると、循環器系の疾患、呼吸器系の疾患、消化器系の疾患などでは1よりやや小さく、逆に、筋骨格系及び結合組織の疾患、損傷、中毒及びその他の外因の影響などでは1よりやや大きかった。患者住所地が県内と県外別にみると、その比は1よりやや小さかった。

D. 考察

本研究班の他の研究によって、東日本大震災が保健医療統計に広くかつ甚大な影響を及ぼしたことが確認された。統計値の補正の実施可能性が大きいものとして、国民生活基礎調査の世帯数とともに、患者調査の推計患者数が挙げられた（研究報告書「東日本大震災による統計への影響の分析と補正—保健医療統計の影響状況と補正の実施可能性—」を参照）。

患者調査において、東日本大震災によって2011年の宮城県の石巻・気仙沼医療圏と福島県が調査対象外となった。ここでは、両県の推計患者数を補正の対象とした。宮城県の推計患者数の補正方法としては、患者調査の宮城県の石巻・気仙沼医療圏以外の推計患者数を基礎とし、病院・一般診療所・歯科診療所、入院・外来ごとの医療施設調査の在院患者数と外来患者延数を補助変数とする比推定を用いた。この補正方法の主な仮定としては、宮城県の石巻・気仙沼医療圏とそれ以外の間で、病院・一般診療所・歯科診療所ごとに、性・年齢階級、傷病分類、患者住所地都道府県の割合が等しいことである。在院患者数と外来患者延数を補助変数とする比推定の使用については、患者調査の患者数の推計方法に準じている。

福島県の推計患者数（2011年）の補正方法としては、福島県患者調査の推計患者数（2012年）を基礎とし、病院・一般診療所・歯科診療所、入院・外来ごとに、2011年と2012年の在院患者数と外来患者延数などを補助変数とする比推定とした。この補正方法の主な仮定としては、年次の間で、病院・一般診療所・歯科診療所ごとに、性・年齢階級、傷病分類、患者住所地都道府県の割合が等しいことである。補助変数として、病院では、患者調査の推計方法と同様に、在院患者数と外来患者延数を用いたが、その情報が得られないために、一般診療所の入院では病床数で、一般診療所と歯科診療所の外来では施設数で代用した。

本研究で用いた推計患者数の補正方法については、患者調査の推計患者数の推計方法に準じ

たものであり、前述の仮定を設定したものの、自然でかつ簡便な方法である。他に有効な情報が利用できる場合を除いて、この補正方法はある程度の適切さを有すると考えられる。

全国の推計患者数について、その補正值に対して、患者調査の報告値（宮城県の石巻・気仙沼医療圏と福島県を含まず）は入院・外来とも0.98倍であった。性・年齢階級、傷病分類ごとにみても、この比は0.98倍とほぼ一定であった。患者住所地都道府県ごとにみると、患者住所地が宮城県と福島県では（施設所在地の宮城県の一部と福島県が患者調査の調査対象外のため）、この比がかなり小さかった。患者調査の推計患者数については、過去の年次推移にはある程度の変動があり、その変動を考慮すると、0.98倍の違いは大きなものではないと考えられる。したがって、全国の推計患者数について、年次推移などの観察では、患者住所地別を除けば、補正值の使用の必要性は大きくないと考えられた。一方、宮城県と福島県の推計患者数については、患者調査の調査値が未調査のために著しく過小であることから、年次推移などの観察には、補正值の必要性が大きいと考えられる。その意味では、これらの推計患者数の補正值を広く一般に提供することが重要と考えられる。

宮城県の推計患者数補正值については、宮城県患者調査の患者数調査値とおおよそ一致していたが、全体的にやや少ない傾向であった。宮城県の推計患者数補正值は2011年10月に対して、宮城県患者調査の患者数調査値は2012年1月であり、季節が秋と冬で異なる。一般に、患者数は秋よりも冬に多いことが知られており、宮城県の推計患者数補正值がやや少なかった結果と符合する。また、宮城県の推計患者数補正值と宮城県患者調査の患者数調査値の違いとしては、いくつかの傷病で大きかったが、傷病の受療率が季節で異なることと符合する。したがって、この比較結果は、宮城県の推計患者数補正值が妥当性を有する可能性を示唆している。

本補正方法と本補正值の妥当性については、別の情報を利用してさらに検証する必要がある、

今後の課題である。広く一般への情報の提供にあたっては、本補正值の妥当性が未検証であることの明示が不可欠と考えられる。

E. 結論

平成23年「患者調査」の推計患者数について、東日本大震災による未調査地域の補正を試みた。未調査地域の補正方法として、宮城県の石巻・気仙沼医療圏では宮城県のそれ以外の地域の推計患者数を、福島県では「福島県患者調査」の推計患者数を基礎として、「医療施設調査」の在院患者数と外来患者延数（利用できない場合には入院で病床数、外来で施設数など）を補助変量とする比推定を用いた。全国、宮城県と福島県における入院・外来の推計患者数補正值を、性・年齢階級別、傷病分類別、患者住所地別に示した。全国の推計患者数補正值に対して、「患者調査」の報告値（宮城県の石巻・気仙沼医療圏と福島県を含まず）は入院・外来とも0.98倍であった。また、宮城県の推計患者数補正值は「宮城県患者調査」の患者数調査値とおおよそ一致したことから、妥当性を有する可能性が示唆された。宮城県と福島県の推計患者数補正值はその妥当性が未検証であることを明示しつつ、広く一般に提供することが重要と考えられた。

平成23年度宮城県患者調査の患者数について、宮城県庁から提供を受けて使用しました。関係各位に深甚の謝意を表します。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし。

2. 学会発表

- 1) 橋本修二, 川戸美由紀, 山田宏哉, 鈴木茂孝, 眞崎直子, 柴田陽介, 尾島俊之, 三重野牧子, 月野木ルミ, 村上義孝. 東日本大震災と保健医療統計の研究 第1報 震災前後の死亡状況. 日本公衆衛生学会, 2014.

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし。

2. 実用新案登録

なし。

3. その他

なし。

表1. 平成23年患者調査の推計患者数の補正值：性・年齢階級別

	性別	年齢階級	推計患者数の補正值 (千人)			推計患者数の 報告値 (千人)	
			宮城県 ^a	福島県 ^a	全国	全国 ^b	比 ^c
入院	男性	総数	10.0	10.3	625.0	613.6	0.98
		0～4歳	0.2	0.2	10.1	9.9	0.98
		5～14歳	0.1	0.2	6.5	6.3	0.97
		15～24歳	0.2	0.1	9.5	9.3	0.98
		25～34歳	0.4	0.3	16.0	15.7	0.98
		35～44歳	0.7	0.5	31.9	31.3	0.98
		45～54歳	0.8	0.9	48.9	48.0	0.98
		55～64歳	2.0	2.1	114.3	112.0	0.98
		65～74歳	2.0	2.3	142.1	139.5	0.98
		75～84歳	2.6	2.6	165.6	162.7	0.98
		85歳以上	1.0	1.2	78.7	77.4	0.98
	不詳	0.0	0.0	1.4	1.4	0.99	
	女性	総数	11.1	11.6	740.3	727.5	0.98
		0～4歳	0.1	0.2	8.5	8.3	0.98
		5～14歳	0.1	0.1	5.0	4.9	0.98
		15～24歳	0.2	0.2	10.0	9.8	0.98
		25～34歳	0.5	0.5	27.1	26.5	0.98
		35～44歳	0.5	0.5	31.0	30.5	0.98
		45～54歳	0.6	0.6	35.1	34.4	0.98
		55～64歳	1.4	1.3	77.5	76.0	0.98
		65～74歳	1.8	1.8	115.8	113.8	0.98
		75～84歳	2.9	3.3	206.4	202.8	0.98
85歳以上		3.0	3.2	222.2	218.6	0.98	
不詳	0.0	0.0	1.8	1.8	1.00		
外来	男性	総数	54.6	48.5	3,117.1	3,062.5	0.98
		0～4歳	3.3	3.9	198.8	194.5	0.98
		5～14歳	3.9	4.0	225.1	220.7	0.98
		15～24歳	2.3	1.4	109.0	107.3	0.98
		25～34歳	2.7	2.2	155.8	153.2	0.98
		35～44歳	3.8	3.6	243.6	239.6	0.98
		45～54歳	5.0	4.9	278.3	272.8	0.98
		55～64歳	9.7	8.3	513.8	504.4	0.98
		65～74歳	11.1	9.2	664.3	653.8	0.98
		75～84歳	10.4	8.3	575.9	566.4	0.98
		85歳以上	2.2	2.5	137.4	134.6	0.98
	不詳	0.2	0.1	15.1	15.0	0.99	
	女性	総数	75.4	60.3	4,266.8	4,198.0	0.98
		0～4歳	3.1	3.2	176.6	173.0	0.98
		5～14歳	3.6	3.5	205.3	201.4	0.98
		15～24歳	2.8	2.6	157.5	154.6	0.98
		25～34歳	5.2	5.1	285.8	280.1	0.98
		35～44歳	6.9	4.9	382.7	377.0	0.99
		45～54歳	6.5	5.6	378.3	372.0	0.98
		55～64歳	12.8	9.1	656.0	645.5	0.98
		65～74歳	14.1	10.8	858.6	846.1	0.99
		75～84歳	15.5	10.8	841.3	828.7	0.99
85歳以上		4.6	4.6	305.3	300.2	0.98	
不詳	0.3	0.1	19.4	19.3	0.99		

^a:施設所在地。 ^b:宮城県の石巻・気仙沼医療圏と福島県を除く。 ^c:報告値／補正值。

表2-1. 平成23年患者調査の推計患者数の補正值：傷病分類別、入院

傷病分類	推計患者数の補正值 (千人)			推計患者数の 報告値(千人)	
	宮城県 ^a	福島県 ^a	全国	全国 ^b	比 ^c
総数	21.2	22.0	1,365.4	1,341.0	0.98
I 感染症及び寄生虫症	0.5	0.2	22.7	22.4	0.99
腸管感染症(再掲)	0.1	0.1	4.0	3.9	0.98
結核(再掲)	0.0	0.0	3.9	3.9	0.99
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患(再掲)	0.1	0.0	1.6	1.5	0.98
真菌症(再掲)	0.0	0.0	0.8	0.8	0.99
II 新生物	3.0	2.8	153.7	150.6	0.98
(悪性新生物)(再掲)	2.6	2.5	137.6	134.8	0.98
胃の悪性新生物(再掲)	0.3	0.3	15.3	14.9	0.98
結腸及び直腸の悪性新生物(再掲)	0.3	0.3	19.6	19.2	0.98
気管、気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	0.3	0.3	19.7	19.3	0.98
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.1	0.1	6.7	6.5	0.98
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	0.5	0.6	36.7	36.0	0.98
甲状腺障害(再掲)	0.0	0.0	1.2	1.2	0.99
糖尿病(再掲)	0.3	0.4	24.3	23.9	0.98
V 精神及び行動の障害	4.5	5.0	287.9	282.3	0.98
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	2.6	3.3	177.8	174.1	0.98
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)(再掲)	0.6	0.5	29.7	29.1	0.98
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(再掲)	0.1	0.1	5.6	5.6	0.98
VI 神経系の疾患	1.6	1.8	116.9	114.9	0.98
VII 眼及び付属器の疾患	0.2	0.1	12.1	11.9	0.99
白内障(再掲)	0.1	0.1	7.6	7.5	0.99
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0.1	0.1	2.8	2.7	0.98
IX 循環器系の疾患	3.6	3.6	255.2	251.3	0.98
高血圧性疾患(再掲)	0.0	0.1	7.2	7.1	0.99
(心疾患(高血圧性のものを除く))(再掲)	0.9	0.9	59.1	58.1	0.98
虚血性心疾患(再掲)	0.2	0.3	16.4	16.1	0.98
脳血管疾患(再掲)	2.3	2.3	174.7	172.2	0.99
X 呼吸器系の疾患	1.4	1.7	91.5	89.7	0.98
急性上気道感染症(再掲)	0.0	0.1	1.5	1.4	0.96
肺炎(再掲)	0.6	0.8	39.2	38.3	0.98
急性気管支炎及び急性細気管支炎(再掲)	0.0	0.0	2.0	1.9	0.98
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患(再掲)	0.1	0.2	9.3	9.1	0.98
喘息(再掲)	0.1	0.1	4.5	4.4	0.98
X I 消化器系の疾患	1.3	1.3	65.8	64.3	0.98
う蝕(再掲)	0.0	0.0	0.1	0.1	0.98
歯肉炎及び歯周疾患(再掲)	0.0	0.0	0.2	0.1	0.98
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍(再掲)	0.1	0.1	5.1	5.0	0.98
胃炎及び十二指腸炎(再掲)	0.0	0.0	0.7	0.7	0.97
肝疾患(再掲)	0.1	0.1	8.9	8.7	0.98
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	0.2	0.2	16.0	15.8	0.99
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1.0	1.0	64.2	63.1	0.98
炎症性多発性関節障害(再掲)	0.1	0.1	5.4	5.3	0.98
脊柱障害(再掲)	0.5	0.3	24.0	23.6	0.98
骨の密度及び構造の障害(再掲)	0.0	0.0	1.5	1.5	0.98
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	0.9	0.9	48.6	47.6	0.98
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全(再掲)	0.6	0.6	35.9	35.2	0.98
乳房及び女性生殖器の疾患(再掲)	0.0	0.0	2.3	2.3	0.98
X V 妊娠、分娩及び産じょく	0.2	0.3	17.9	17.6	0.98
妊娠高血圧症候群(再掲)	0.0	0.0	0.4	0.4	0.98
X VI 周産期に発生した病態	0.1	0.1	6.7	6.6	0.98
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	0.1	0.1	5.9	5.8	0.98
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.3	0.3	19.0	18.6	0.98
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1.6	1.6	126.6	124.8	0.99
骨折(再掲)	1.1	1.1	86.8	85.6	0.99
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0.1	0.2	8.5	8.3	0.98
歯の補てつ(再掲)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.00

^a:施設所在地。^b:宮城県の石巻・気仙沼医療圏と福島県を除く。^c:報告値/補正值。

表2-2. 平成23年患者調査の推計患者数の補正值：傷病分類別、外来

傷病分類	推計患者数の補正值 (千人)			推計患者数の 報告値(千人)	
	宮城県 ^a	福島県 ^a	全国	全国 ^b	比 ^c
総数	130.0	108.8	7,383.9	7,260.5	0.98
I 感染症及び寄生虫症	2.5	2.1	172.3	169.9	0.99
腸管感染症(再掲)	0.5	0.5	31.2	30.6	0.98
結核(再掲)	0.0	0.0	2.0	2.0	0.99
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患(再掲)	0.9	0.7	48.3	47.5	0.98
真菌症(再掲)	0.5	0.5	37.4	36.9	0.99
II 新生物	3.9	4.0	224.4	219.9	0.98
(悪性新生物)(再掲)	2.8	3.1	167.0	163.5	0.98
胃の悪性新生物(再掲)	0.3	0.4	19.7	19.2	0.98
結腸及び直腸の悪性新生物(再掲)	0.4	0.4	24.4	24.0	0.98
気管、気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	0.2	0.2	15.7	15.4	0.98
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.4	0.3	22.7	22.3	0.98
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	6.8	5.6	420.8	414.4	0.98
甲状腺障害(再掲)	0.2	0.3	29.2	28.9	0.99
糖尿病(再掲)	3.7	3.1	212.0	208.5	0.98
V 精神及び行動の障害	4.2	5.1	226.8	221.2	0.98
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	0.9	1.6	62.3	60.6	0.97
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)(再掲)	1.7	1.5	76.2	74.5	0.98
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(再掲)	1.0	1.4	48.9	47.4	0.97
VI 神経系の疾患	2.6	2.7	152.8	149.8	0.98
VII 眼及び付属器の疾患	7.4	4.3	299.2	294.1	0.98
白内障(再掲)	2.2	1.1	85.4	84.0	0.98
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.0	1.3	116.3	114.7	0.99
IX 循環器系の疾患	17.0	14.3	964.6	948.3	0.98
高血圧性疾患(再掲)	12.5	10.2	675.2	663.5	0.98
(心疾患(高血圧性のものを除く))(再掲)	2.6	2.3	136.7	134.1	0.98
虚血性心疾患(再掲)	1.1	1.1	62.5	61.3	0.98
脳血管疾患(再掲)	1.4	1.2	113.0	111.6	0.99
X 呼吸器系の疾患	13.1	14.1	723.6	708.0	0.98
急性上気道感染症(再掲)	4.4	4.0	275.6	271.1	0.98
肺炎(再掲)	0.2	0.3	12.3	12.0	0.97
急性気管支炎及び急性細気管支炎(再掲)	2.5	3.7	121.4	117.4	0.97
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患(再掲)	0.4	0.3	32.8	32.4	0.99
喘息(再掲)	2.7	3.3	133.3	129.7	0.97
X I 消化器系の疾患	20.6	17.5	1,320.0	1,300.3	0.99
う蝕(再掲)	4.8	3.7	318.5	314.3	0.99
歯肉炎及び歯周疾患(再掲)	6.1	5.5	406.6	400.5	0.98
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍(再掲)	0.7	0.5	39.6	39.0	0.99
胃炎及び十二指腸炎(再掲)	0.7	0.8	61.8	60.9	0.99
肝疾患(再掲)	0.7	0.5	42.2	41.6	0.99
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	3.2	3.6	257.9	254.0	0.98
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	21.9	12.2	1,016.5	1,001.8	0.99
炎症性多発性関節障害(再掲)	1.0	0.6	57.8	57.2	0.99
脊柱障害(再掲)	10.5	5.7	511.9	505.1	0.99
骨の密度及び構造の障害(再掲)	1.6	0.9	55.7	54.6	0.98
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	4.8	6.6	273.1	266.0	0.97
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全(再掲)	1.9	4.2	129.8	125.3	0.97
乳房及び女性生殖器の疾患(再掲)	0.8	1.1	70.6	69.5	0.98
X V 妊娠、分娩及び産じょく	0.2	0.4	14.3	13.9	0.97
妊娠高血圧症候群(再掲)	0.0	0.0	0.2	0.2	1.00
X VI 周産期に発生した病態	0.0	0.1	2.6	2.6	0.98
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	0.2	0.1	11.6	11.4	0.99
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1.2	1.2	85.0	83.7	0.98
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	6.2	3.7	322.0	317.6	0.99
骨折(再掲)	1.5	1.1	98.0	96.7	0.99
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	11.9	9.6	757.4	746.5	0.99
歯の補てつ(再掲)	4.1	4.2	317.6	313.0	0.99

^a:施設所在地。^b:宮城県の石巻・気仙沼医療圏と福島県を除く。^c:報告値/補正值。

表3-1. 平成23年患者調査の推計患者数の補正值：患者住所地別、入院

患者住所地	推計患者数の補正值 (千人)			推計患者数の 報告値 (千人)	
	宮城県 ^a	福島県 ^a	全国	全国 ^b	比 ^c
総数	21.2	22.0	1,365.4	1,341.0	0.98
北海道	0.0	0.0	85.3	85.3	1.00
青森	0.0	0.0	15.5	15.5	1.00
岩手	0.2	0.0	15.3	15.3	1.00
宮城	20.2	0.1	20.9	18.5	0.88
秋田	0.0	0.0	13.7	13.7	1.00
山形	0.1	0.0	13.2	13.2	1.00
福島	0.3	21.2	22.7	1.5	0.07
茨城	0.0	0.2	26.2	26.1	0.99
栃木	0.0	0.1	18.0	17.9	0.99
群馬	0.0	0.0	20.3	20.3	1.00
埼玉	0.0	0.0	54.2	54.2	1.00
千葉	0.0	0.0	46.3	46.3	1.00
東京	0.0	0.1	106.1	106.0	1.00
神奈川	0.0	0.0	61.1	61.0	1.00
新潟	0.0	0.0	25.7	25.7	1.00
富山	0.0	0.0	15.7	15.7	1.00
石川	0.0	0.0	16.3	16.3	1.00
福井	0.0	0.0	10.0	10.0	1.00
山梨	0.0	0.0	8.6	8.6	1.00
長野	0.0	0.0	19.7	19.7	1.00
岐阜	0.0	0.0	18.5	18.5	1.00
静岡	0.0	0.0	32.0	32.0	1.00
愛知	0.0	0.0	57.4	57.4	1.00
三重	0.0	0.0	17.3	17.3	1.00
滋賀	0.0	0.0	12.9	12.9	1.00
京都	0.0	0.0	29.8	29.8	1.00
大阪	0.0	0.0	88.0	88.0	1.00
兵庫	0.0	0.0	54.4	54.3	1.00
奈良	0.0	0.0	13.0	13.0	1.00
和歌山	0.0	0.0	12.4	12.4	1.00
鳥取	0.0	0.0	7.4	7.4	1.00
島根	0.0	0.0	10.1	10.1	1.00
岡山	0.0	0.0	24.1	24.1	1.00
広島	0.0	0.0	35.6	35.6	1.00
山口	0.0	0.0	25.6	25.6	1.00
徳島	0.0	0.0	13.3	13.3	1.00
香川	0.0	0.0	13.5	13.5	1.00
愛媛	0.0	0.0	20.4	20.4	1.00
高知	0.0	0.0	16.7	16.7	1.00
福岡	0.0	0.0	79.0	79.0	1.00
佐賀	0.0	0.0	13.6	13.6	1.00
長崎	0.0	0.0	26.4	26.4	1.00
熊本	0.0	0.0	33.7	33.7	1.00
大分	0.0	0.0	19.5	19.5	1.00
宮崎	0.0	0.0	17.4	17.4	1.00
鹿児島	0.0	0.0	33.2	33.2	1.00
沖縄	0.0	0.0	17.3	17.3	1.00
不詳	0.1	0.1	7.9	7.8	0.99

^a:施設所在地。^b:宮城県の石巻・気仙沼医療圏と福島県を除く。^c:報告値／補正值。

表3-2. 平成23年患者調査の推計患者数の補正值：患者住所地別、外来

患者住所地	推計患者数の補正值 (千人)			推計患者数の 報告値 (千人)	
	宮城県 ^a	福島県 ^a	全国	全国 ^b	比 ^c
総数	130.0	108.8	7,383.9	7,260.5	0.98
北海道	0.0	0.0	291.5	291.5	1.00
青森	0.0	0.0	85.6	85.6	1.00
岩手	0.3	0.1	72.9	72.8	1.00
宮城	128.4	0.3	129.9	115.2	0.89
秋田	0.0	0.0	61.3	61.3	1.00
山形	0.2	0.1	71.3	71.2	1.00
福島	0.6	106.9	109.8	2.8	0.03
茨城	0.0	0.2	150.6	150.4	1.00
栃木	0.0	0.2	113.5	113.4	1.00
群馬	0.0	0.0	113.6	113.6	1.00
埼玉	0.0	0.0	380.0	380.0	1.00
千葉	0.0	0.0	304.5	304.5	1.00
東京	0.0	0.1	825.7	825.6	1.00
神奈川	0.0	0.1	476.9	476.7	1.00
新潟	0.0	0.0	128.6	128.6	1.00
富山	0.0	0.0	60.1	60.1	1.00
石川	0.0	0.0	60.8	60.8	1.00
福井	0.0	0.0	43.6	43.6	1.00
山梨	0.0	0.0	48.7	48.7	1.00
長野	0.0	0.0	110.6	110.6	1.00
岐阜	0.0	0.0	126.3	126.3	1.00
静岡	0.0	0.0	188.7	188.7	1.00
愛知	0.0	0.0	437.1	437.1	1.00
三重	0.0	0.0	110.8	110.8	1.00
滋賀	0.0	0.0	77.8	77.8	1.00
京都	0.0	0.0	141.5	141.5	1.00
大阪	0.0	0.0	501.9	501.8	1.00
兵庫	0.0	0.0	343.1	343.1	1.00
奈良	0.0	0.0	66.0	66.0	1.00
和歌山	0.0	0.0	65.2	65.2	1.00
鳥取	0.0	0.0	34.4	34.4	1.00
島根	0.0	0.0	43.5	43.5	1.00
岡山	0.0	0.0	122.8	122.8	1.00
広島	0.0	0.0	186.4	186.4	1.00
山口	0.0	0.0	93.5	93.5	1.00
徳島	0.0	0.0	51.0	51.0	1.00
香川	0.0	0.0	64.4	64.4	1.00
愛媛	0.0	0.0	88.8	88.8	1.00
高知	0.0	0.0	47.7	47.7	1.00
福岡	0.0	0.0	327.9	327.9	1.00
佐賀	0.0	0.0	58.7	58.7	1.00
長崎	0.0	0.0	92.0	92.0	1.00
熊本	0.0	0.0	123.5	123.5	1.00
大分	0.0	0.0	72.1	72.1	1.00
宮崎	0.0	0.0	72.5	72.5	1.00
鹿児島	0.0	0.0	105.5	105.5	1.00
沖縄	0.0	0.0	61.2	61.2	1.00
不詳	0.2	0.6	40.3	39.7	0.98

^a:施設所在地。^b:宮城県の石巻・気仙沼医療圏と福島県を除く。^c:報告値／補正值。

図1. 患者調査の宮城県の推計患者数補正值と宮城県患者調査の患者数調査値の比較
 : 入院・外来、性別

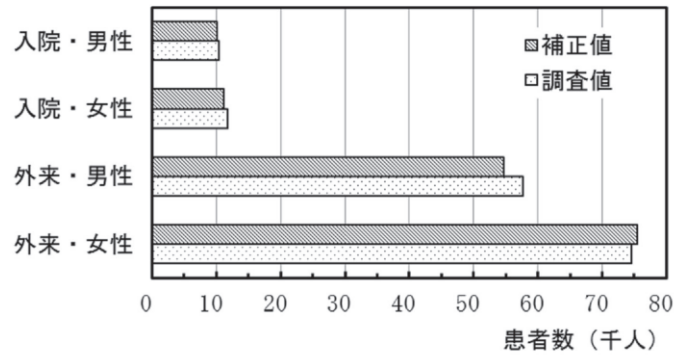


図2. 患者調査の宮城県の推計患者数補正值と宮城県患者調査の患者数調査値の比較
 : 性・年齢階級別

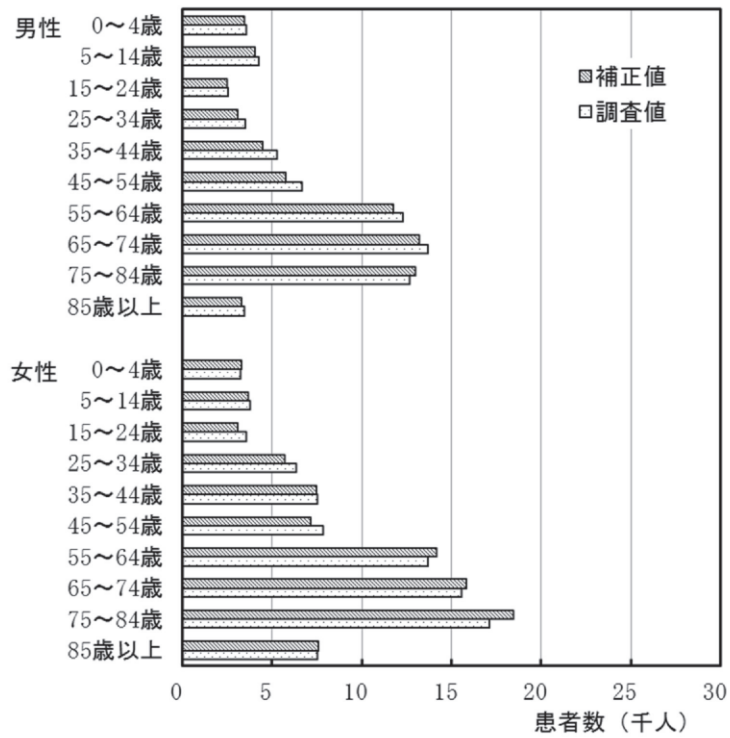


図3. 患者調査の宮城県の推計患者数補正值と宮城県患者調査の患者数調査値の比較
：傷病分類別

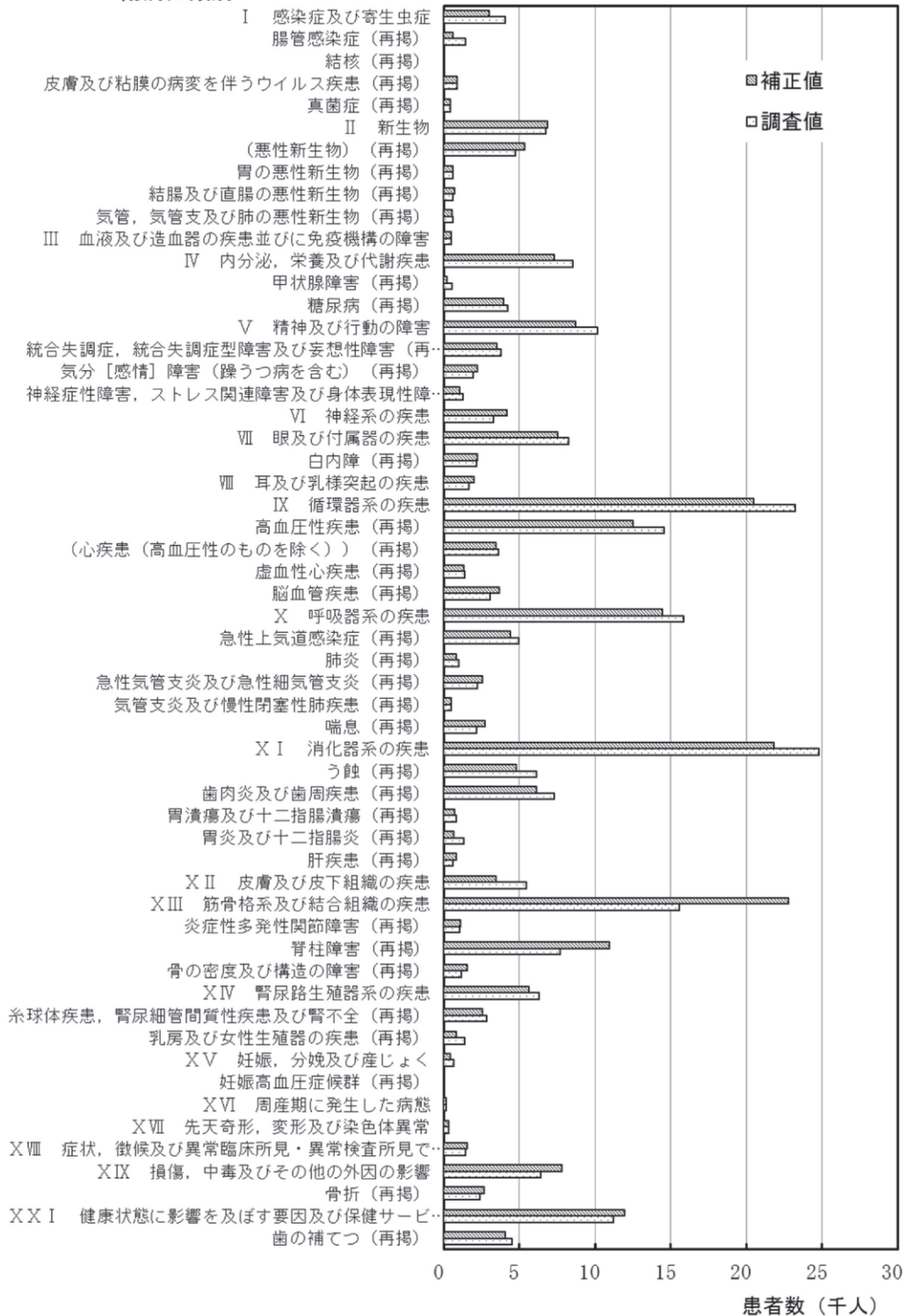


図4. 患者調査の宮城県の推計患者数補正值と宮城県患者調査の患者数調査値の比較
 : 入院・外来、県内・県外別

